

この「送付票」は、各小学校から各市町村担当者あるいは代議員へ、応募作品に添えてお送りください。各市町村の応募要項により、学校からの応募数が下記の送付票と異なる場合などは、各市町村で独自のものを使用させていただいて構いませんが、**校内応募作品集計表については、必ずご提出ください。**

大阪府青少年読書感想文コンクール応募作品送付票 各学校記入用(小学校)

年 月 日

学校名 _____ 立 _____ 学校 _____ 取扱責任者名前 _____

所在地 _____ 電話番号 _____ (_____) _____

学校審査の結果

部	区分	題名	名前	学年
小学校 低学年 の部	自由			
	課題			
小学校 中学年 の部	自由			
	課題			
小学校 高学年 の部	自由			
	課題			

以上の通り、各地区（市町村などの）審査会へ本校の代表作品 計 _____ 編 を送付します。

文字数については下記のとおりです。（確認のBOXにチェックを入れてください）

低学年の部（1、2年生）は 本文 600 字以上 800 字以内です。 確認

中学年の部（3、4年生）は 本文 1000 字以上 1,200 字以内です。 確認

高学年の部（5、6年生）は 本文 1000 字以上 1,200 字以内です 確認

読書感想文コンクール校内応募作品集計表

<以下のデータは全校提出してください>

- ・各地区（市町村などの）審査会へ送付する作品がない場合でも、校内審査の作品数を記入して各地区（市町村などの）審査会へ提出してください。
- ・学校代表だけでなく、学校に提出された感想文の総数を部ごとに記入ください。
- ・作品数は概数でも結構です。校内審査の数もコンクール参加数といたします。

部	学校応募作品数					
	自由読書		課題読書		代表作品の計	応募作品の計
小学校低学年の部						
小学校中学年の部						
小学校高学年の部						
合計						

この「送付票」は、各小学校から各市町村担当者あるいは代議員へ、応募作品に添えてお送りください。各市町村の応募要項により、学校からの応募数が下記の送付票と異なる場合などは、各市町村で独自のものを使用いただいても構いませんが、**校内応募作品集計表については、必ずご提出ください。**

「大阪府青少年読書感想文コンクール応募作品送付票」記入について

小学校用

平素は学校図書館教育並びに本協議（研究）会の活動に、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて読書感想文の応募につきまして担当者の方には、下記の事柄に充分御注意をいただき、それぞれ校内の代表作品を、部・区分に分類整理して「応募作品送付票」に御記入いただきますようご協力をお願いします。

- * この「応募作品送付票」は各学校から**各地区（市町村などの）審査会**に提出するものです。
 - (1) 「学校名」「取扱責任者」と「電話番号」の欄は、かならず記入してください。
 - (2) 「以上の通り、各市町村審査会へ本校の代表作品 計_____編を送付します。」のところには、学校から**各地区（市町村などの）審査会**に送付する代表作品の合計点数を記入してください。
小学校の場合は、低学年・中学年と高学年を合わせた数になります。
 - (3) 「部」の欄は、小学校の場合は低学年・中学年・高学年の別です。
小学校低学年の部は小学校1・2年、小学校中学年の部は小学校3・4年、小学校高学年の部は小学校5・6年です。
 - (4) 「区分」の欄は、自由読書（自由に選んだ図書の感想文）であるか、課題図書（主催者の指定した図書の感想文）であるか、の別に記入してください。
 - (5) 「題名」の欄は、提出作品（感想文）の題名を記入してください。
 - (6) 「題名」と「名前」の欄は、**応募票と同じ**にしてください。
入賞の場合、**応募票に記載の内容で賞状等が作成**されます。（記入不備に起因する誤りの修正は行いません）

* 「読書感想文コンクール**校内応募作品集計表**」は大阪府内のコンクールの実態を把握する重要な基礎資料です。全国学校図書館協議会、大阪府教育庁、毎日新聞の新聞発表への報告資料となります。

- (7) 学校代表作品だけでなく、校内でこのコンクールに参加した全部の児童または生徒、応募した全部の作品の、それぞれの総数を記入してください。

たとえば、ある学年の全学級が応募した場合、また学校内の全学級が応募した場合、それぞれ応募した児童生徒の合計は何名であったか、応募作品の合計は何点であったかを記入することになります。

概数でも結構ですので、必ず御記入ください。

以下は、小学校の低学年で、自由読書 65 人、課題読書に 35 人応募した児童のなかで、代表作品は自由読書だけで、課題読書がない場合です。（中学年と高学年では、どちらも代表作品がある場合）

部	学校応募作品数				代表作品の計	応募作品の計
	自由読書		課題読書			
小学校低学年の部	1	65	0	35	1	100
小学校中学年の部	1	70	1	40	2	110
小学校高学年の部	1	90	1	50	2	140
合計	3	225	2	125	5	350

- (7) **各地区（市町村などの）審査会**へは、**各代表作品**（必ずコピーを保存しておいてください）と**各応募票**とこの**送付票の3点セット**で提出してください。

応募票・送付票・原稿用紙などの必要書類は、大阪府学校図書館協議会・全国学校図書館協議会・高等学校図書館研究会の各HPよりダウンロードできます。

- 学校図書館協議会 <https://opsla.org/>
- 全国学校図書館協議会 <https://www.j-sla.or.jp/>
- 大阪府高等学校図書館研究会 <https://ohs-lib.org/>